

高齢者を取りまくコミュニティの実態 (鹿児島県笠沙町の事例)

その3 - 日常の生活行動に関する集落間の比較

正会員○ 古川恵子 *2
同 友清貴和 *1

1. はじめに

前報に引き続き、過疎化と高齢化が進行した地方地域の高齢者の生活を支える要因を考察する。

2. 研究の目的

前報(*1)で明らかになった、近所づきあいなどが緊密に行われている集落の地理的特徴を把握し、また、住民の生活行動の実態を詳しくみることにより、地域による生活行動の比較を行い、生活支援の要因を考察する。

3. 研究の方法

前回のアンケート調査では、笠沙町における40歳以上の町民の付き合いの程度が集落によって差があることが明らかになった。その生活実態の近所づきあいの結果や集落規模、地理的条件などをもとに、笠沙町の6集落を選定した。この6集落の全世帯を対象として家族構成や子との同居意向、別居子との関りあい方、親戚との付き合いの状況、友達づきあい、また、日常生活について、戸別訪問による聞き取り調査を行い、分析した。

4. 調査概要

4-1. 調査方法

平成11年6月に調査対象の6集落をまわり、集落の地理的特徴や施設配置の確認をし、調査表を作成した。調査期間は、1999年7、8月。調査対象集落は市崎木場、松木場、高崎山、谷山、小崎、魚路の6集落。調査対象世帯数は6集落全世帯の121世帯。回答を得られたのは75世帯で、回答率61.1%である。

4-2. 調査地区の概要

笠沙町は男性1,870人、女性2,213人の総人口4,083人からなり、高齢化率38.97%である。鹿児島県の薩摩半島の西南端に位置する25の集落からなる。今回調査した6集落は、山麓地集落(市崎木場、松木場)、急傾斜地集落(高崎山、谷山、魚路)、平坦地集落(小崎)に分類される。高崎山、小崎は、国道226号線沿いにあり、谷山は国道から約400m入った所、魚路は約300m入った所にある。

5. 調査結果と分析

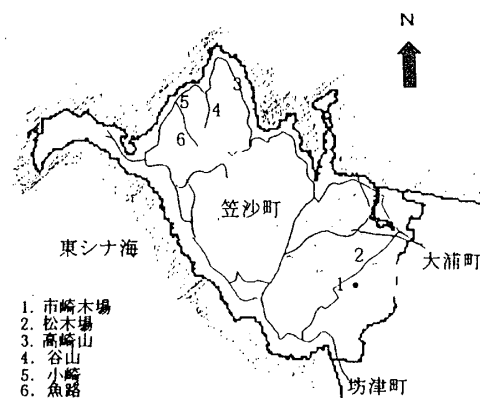
集落の概要 集落全世帯数がほぼ同じで、地形的には異なる市崎木場と魚路の2集落について述べる。[市崎木場]; 高齢化率は45.2%でその内訳は前期高齢者が

32.3%、後期高齢者が12.9%である。65歳以上の高齢者の単身世帯は2世帯である。集落は町を南北に縦断する幹線道路に面していて松木場集落と隣接している。松木場の空家に転居して、集落の活動は以前のままという世帯もある。道路沿いの公民館はごみ収集所横の階段を上った所にある。午前中から夕方にかけて高齢者も近くの畑やポンカン畑などに出ており、集落内は静かである。バス停は歩いて20分くらいの遠いところにあるが、それでも通院で利用する人もいる。地域施設としては、公民館と納骨堂のみで、他に購買施設も公衆電話もない。

【表1】調査集落の概要

	集落の概要				
	世帯数	人口	高齢者数	高齢化率	独居高齢者数
1.市崎木場	21	62	28	45.16%	2
2.松木場	38	79	44	55.70%	12
3.高崎山	11	16	13	81.25%	5
4.谷山	22	42	18	42.86%	5
5.小崎	11	19	8	42.11%	4
6.魚路	18	43	22	51.16%	3
合計	121	261	133	-	31

(笠沙町資料/1999年4月1日)



【図1】笠沙町調査対象集落

【表2】調査世帯の概要

	調査世帯の概要			
	世帯数	世帯人数合計	高齢者数	独居高齢者数
1.市崎木場	16	39	25	2
2.松木場	20	43	27	6
3.高崎山	7	10	10	4
4.谷山	11	25	9	3
5.小崎	6	12	8	2
6.魚路	15	33	19	4
合計	75	162	98	21

A Study on the Community of the Elderly people. (using Kasasa-cho in Kagoshima prefecture as a Model) part3
-The Comparative Research of the Inhabitants' Daily Behaviors of Different Villages-

FURUKAWA Keiko and TOMOKIYO Takakazu

〔魚路〕；町内の北西部に位置している。三方を山に囲まれている急傾斜地集落である。高齢化率 51.2%で、前期高齢者が 23.3%，後期高齢者が 27.9%である。集落内は急な坂や階段が続いている。住宅の位置についても高低に格差がある。自動車は国道から 300mまでしか入れないし、道幅が狭いので駐車できない。特に集落の人々が利用する公民館の前の坂は集落内でもっとも急な坂のひとつである。バイクを利用してこの坂を行き来する高齢者もいる。今回の聞き取り調査では 57.1%の人が不便な道があると回答している。また 12.5%が自宅までのアプローチの改善を希望している。急な坂や、坂道がでこぼこしていること、一部の舗装を除いて雨天時は歩きにくいこと、坂や階段に手すり等の整備がなされていないことが理由と考えられる。日常生活でバスを利用する人が多いが、バス停までの 260mから 600mの道のりを遠いと答えた人は半数である。

〔高齢化と居住年数〕調査回答者の 45.1%が前期高齢者で、36.6%が後期高齢者である。後期高齢者の割合が最も大きいのは、松木場の 54.5%で、高崎山の 44.4%が続く。居住年数は全体の 48.6%が 40 年以上で、高崎山は 70.0%，6 集落中最も少ないのは、市崎木場の 28.6%である。谷山集落では、30 年未満の人はいない。高崎山の集落全員が 50 年以上である。〔子ども・親戚・友人〕現在子どもと別居している人で同居を希望する人は少ない結果がでている。ひとりが気楽という理由があげられている。一方、近くの集落や隣の市や町に住む子どもが毎週家に来たり、買い物に連れて行くなどのつながりがあり、高齢者の心身の支えともなっている。また、親戚とよく会っている人は多く、82.4%である。特に兄弟姉妹と連絡をとっているという結果が出ている。集落内はほとんどが親戚同士という集落もある。友人については全体では、親しい友人数は 10 人以上という回答が最も多く、また集落全体という回答が世帯数の少ない谷山や小崎に多い。集落単位で親密なつきあいがされてい

ると考えられる。友人とは直接会うことが多く、お互いの住宅を会う場所としている人が 68.4%である。〔日常の助け合い〕買い物や通院の目的でよく外出する人は約 55%いる。近所の人の車に乗せてもらう人もいて、特に高崎山と魚路に多い。普段、元気かお互い声をかける、話し相手になってもらう等は 90%以上で行われている。次いで、庭や畑でできた花や野菜をやり取りする、いただきものおすそ分けをお互いに行うのは 70%から 80%である。〔生きがい〕半数以上の人が畑づくりや花づくりをあげている。子ども、デイケアと続く。生活時間の表 4 に表れているように高齢にもかかわらず多くの人が一日中畑で働いている。

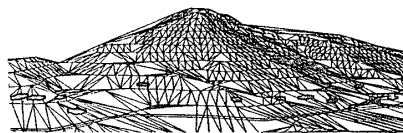
6. まとめ

日常生活における人とのかかわりあいは集落による大きな相違はみられなかった。世帯数の少ない集落では、集落単位で高齢者同士の近所づきあいがなされている。また、全体に居住年数が長く、古くからの近所づきあいが続いており、生活支援の要素になる日常的な助け合いがなされていることがわかった。

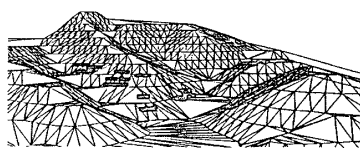
【表 3】調査集落の施設・設備

	墓地等	上水道	下水道
1.市崎木場	納骨堂	簡易水道	町内未整備
2.松木場	墓地	簡易水道	町内未整備
3.高崎山	納骨堂	集落の水	町内未整備
4.谷山	墓地	集落の水	町内未整備
5.小崎	納骨堂	集落の水	町内未整備
6.魚路	墓地	集落の水*	H.12スタート

*簡易水道整備中



【図 2】市崎木場



【図 3】魚路

【表 4】生活時間／市崎木場 (1999.8)

A市崎木場 16世帯		4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
回答者	年齢																					
A-1-a	63		起床	カーニング	朝食	畑(ボンカン)松木場	畑(ボンカン)松木場	昼食		昼寝	畑	畑	買い物	風呂	夕食	TV	TV	就寝				
A-1-b	66		朝食準備	朝食		畑(ボンカン)松木場		昼食		昼寝	畑	畑	買い物	風呂	夕食	TV	TV	就寝				
A-2-a	73		起床	朝食		畑	畑	昼食		昼寝	畑	畑	畑	夕食				就寝				
A-3-a	72		起床	朝食		畑	畑	昼食		昼寝	畑	畑	畑	夕食			風呂	TV	就寝			
A-3-b	69		起床	朝食		畑	畑	昼食		昼寝	畑	畑	畑	夕食			風呂	TV	就寝			
A-4	81		起床・仏さんお茶・朝食	台所掃除洗濯	病院	草取り	野菜つくり	昼食		TV		涼しいとき草取り		夕食			風呂	TV	就寝			
A-5-a	78		起床		農業			昼食		昼寝		農業		夕食			TV・風呂		就寝			
A-6-a	79		起床		草取り			昼食				草取り・畑仕事		夕食			風呂	TV	就寝			
A-7-a	73		起床	朝食		畑		昼食		昼寝	畑	畑	風呂	夕食					就寝			
A-8	71		起床・朝食		草取り・洗濯・買い物・TV(雨)			昼食		昼寝		ごろごろ		夕食					就寝			
A-9	77		起床	朝食		仕事(洗濯・畑)		昼食		昼寝				夕食					就寝			
A-10	86				草取り・デイサービス			昼食		休息				夕食					就寝			
A-11-a	71		5:30起床	お茶・朝食		仕事・畑		昼食		昼寝		お茶・みかん畑	時代劇TV						就寝			
A-11-b	68	3:00起床	お弁当つくり	洗濯	墓参り	掃除		昼食		昼寝									就寝			
A-12-a	65		起床		畑			昼食		昼寝				畑					就寝			
A-14-a	68	4:30起床	お茶・新聞			畑		昼食		昼寝				畑					就寝			
A-15	70					畑		昼食		昼寝			外出・畑						就寝			
A-16	83		起床	朝食		畑		昼食		昼寝				畑					就寝			

* 無回答(7人)省略

(* 1) 日本建築学会大会学術講演梗概集 p.491-494. 1999.9

*1 鹿児島大学工学部建築学科 教授・工博

Prof., Dept. of Architecture, Faculty of Eng., Kagoshima Univ., Dr. Eng.

*2 鹿児島女子短期大学 教授

Prof., Kagoshima Women's junior College